

E012 多賀火山西麓のテフラ(静岡県のGEO  
DATA(3) : 地学散歩(82))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 増島, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024735">https://doi.org/10.14945/00024735</a>

## E012 多賀火山西麓のテフラ



国土地理院 1 : 25,000 葦山

火山灰層の露頭は短時間で草や樹木に覆われ、観察に適した場所は少ない。本露頭は県道19号線沿いにあり目立つ。車は東側の旧大仁東小学校（2010年廃校）付近に置く。

多賀火山西麓に位置するが、大部分は箱根火山起源。愛鷹火山のテフラも堆積している。富士火山活動以前のテフラが主体である。

露頭の最下部には、鮮やかなオレンジ色の箱根Da-1軽石（Daは達磨火山の略号、約12.6万年前）が厚く堆積し、その上位には大仁黄色第2軽石、大仁茶色軽石（愛鷹山起源、角閃石に富む）、箱根Da-4軽石（Da-1に似る）、箱根Da-5軽石（斜長石が目立つ）、箱根TPH新規軽石流（県東部地域に広く分布する、約6万年前）等が観察できる。

（増島 淳）